

Vol.09

Person

濱田洋文さん 恭子さん

移住歴: 東京都→札幌市→三笠市  
居住期間: 5年

医学研究者として新薬の開発に携わってきた濱田さん。長年、研究室で試験管やピペットを片手に仕事をしていたので、今度は地域や自然と密接に関わる仕事をしたかったそうです。この日は、長男・玲央さん(写真左)と共に。

丘のように畑が連なる三笠市連布地区。札幌までは車やJRで1時間ほどの距離に位置しています。濱田さんによると、ブドウの栽培は足腰への負担が比較的少なく、シニア世代の新規就農におすすめだそうです。



一生懸命な姿勢を貫く、57歳からのブドウ栽培。

**Q1. なぜ三笠市に移住したのですか?**  
ワイン用ブドウの栽培を学びたかったからです。畑のある連布地区はワイン用ブドウの栽培が盛んで、山崎ワイナリーさんから農業研修生として受け入れていただきました。「60歳でも70歳でもお越してください」という三笠市のウェルカムな姿勢も決め手でした。驚くほど安く中古住宅を購入できたり、移住促進助成金もいただき感謝しています。

**Q2. 移住して良かったことは?**  
家族揃って仕事ができることです。農

業は、家族と共に汗を流せる数少ない仕事のひとつだと思います。東京の大学に通う息子やその友人たちも、夏休みに手伝いに来てくれました。妻は平日は札幌までJRで通って仕事を続けていますが、週末になると一緒に農作業をしています。

**Q3. 地域になじむためにしたことは?**  
移住前に通っていた〈さっぽろ農学校〉で学んだことを実践しました。地域の活動には必ず参加し、宴会では最後まで残るなど。そういうことも大事ですが、

地元の人が見ているのは、一生懸命にやってくれる人かどうかだと思います。

**Q4. 今後の夢、目標を教えてください。**  
ブドウを植えて3年目の今年、初めてブドウの収穫を迎えました。醸造は近所の滝沢ワイナリーさんをお願いしました。大切に育てたブドウたちがワインになるのが楽しみです。まだ農業収入は少ないですが、来年にはブドウ畑を拡大する予定です。健康を保ちながら頑張っていて、チャレンジ的な60代を過ごしたいです。

Place



地域情報  
[三笠市]

食のスペシャリストを目指す高校生を応援

米、玉ねぎ、キュウリ、メロンなど農業が盛んな三笠市に、今年7月22日、高校生レストラン〈MIKASA COOKING ESSOR〉がオープン。公立としては道内唯一の食物調理科単科校である北海道三笠高等学校の生徒たちが、日頃の学習の成果と地域食材を活かし、和食やスイーツなどを中心に提供。mikasa-highschool-restaurant.com



Information



北海道  
移住情報

移住セミナー&相談会「北海道ウィーク」を開催中

「北海道で暮らしたい!働きたい!」方を対象にした相談会を集中的に開催中。詳しくは〈どさんこ交流テラス〉またはWeb『北海道で暮らそう!』(kuraso-hokkaido.jp)でご確認ください。

移住相談窓口〈どさんこ交流テラス〉

JR有楽町駅前の東京交通会館3階にある、北海道の地域情報、移住に関する相談窓口です。気軽にお立ち寄りください。(☎ 090-1541-0011)